

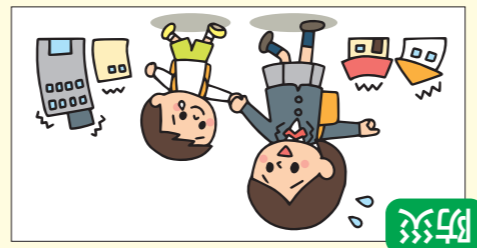
山や崖、川や水路には

防災

地震が起ったら  
大雨が降ったら

場所に身を寄せる

答えはこちらから



誰かが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

防犯

①すぐに  
②大きな声で  
③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら

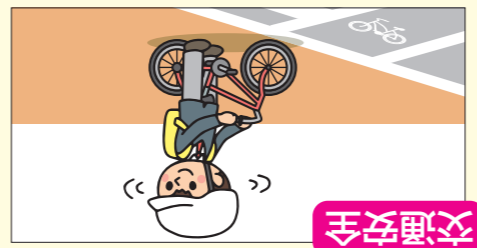


歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも

交通安全

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、交通ルールを守りましょう。

を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なものとなるのか、日頃から考えておこう。



### 3 自分の安全を守る方法を身に付けよう!

どうすれば安全に登校(生活)できるかな?

## 考えてみよう! ~中学生のみなさんへ~

大阪府では自転車乗車中の事故が多く発生しています。その中でも自転車乗車中の死傷者数については16歳の年齢が一番多くなっています。そのような現状をふまえて、自転車の安全な利用に向けて「たかつき安全NOTE P.42」などを参考にしながら自分の自転車の乗り方を振り返り、より安全に自転車を利用するための自分の行動目標を立てて実践しましょう。

自分の目標	実践した日付

実践後の振り返り

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗

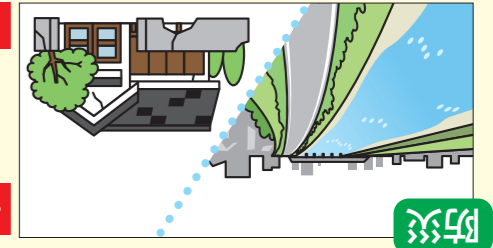
みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。

地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

防災

例えば...  
古びていたり、高さのあるブロック塀の側  
古く、手入れがなされていない住宅の側  
崖の近く  
河川敷や水路沿い

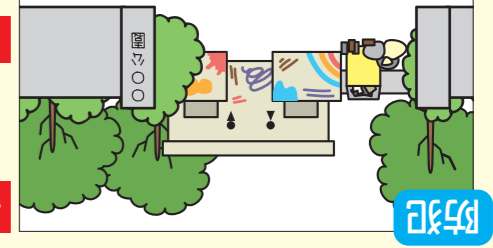
大雨



誰かが「入りやすく」、誰からも「見えにくい」場所

防犯

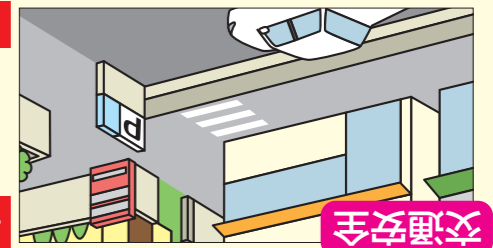
例えば...  
人通りの少ない道路やトンネル  
落書きやゴミがそのままにされている場所  
空き家と思われる住宅



「飛び出し」が発生しやすい場所

交通安全

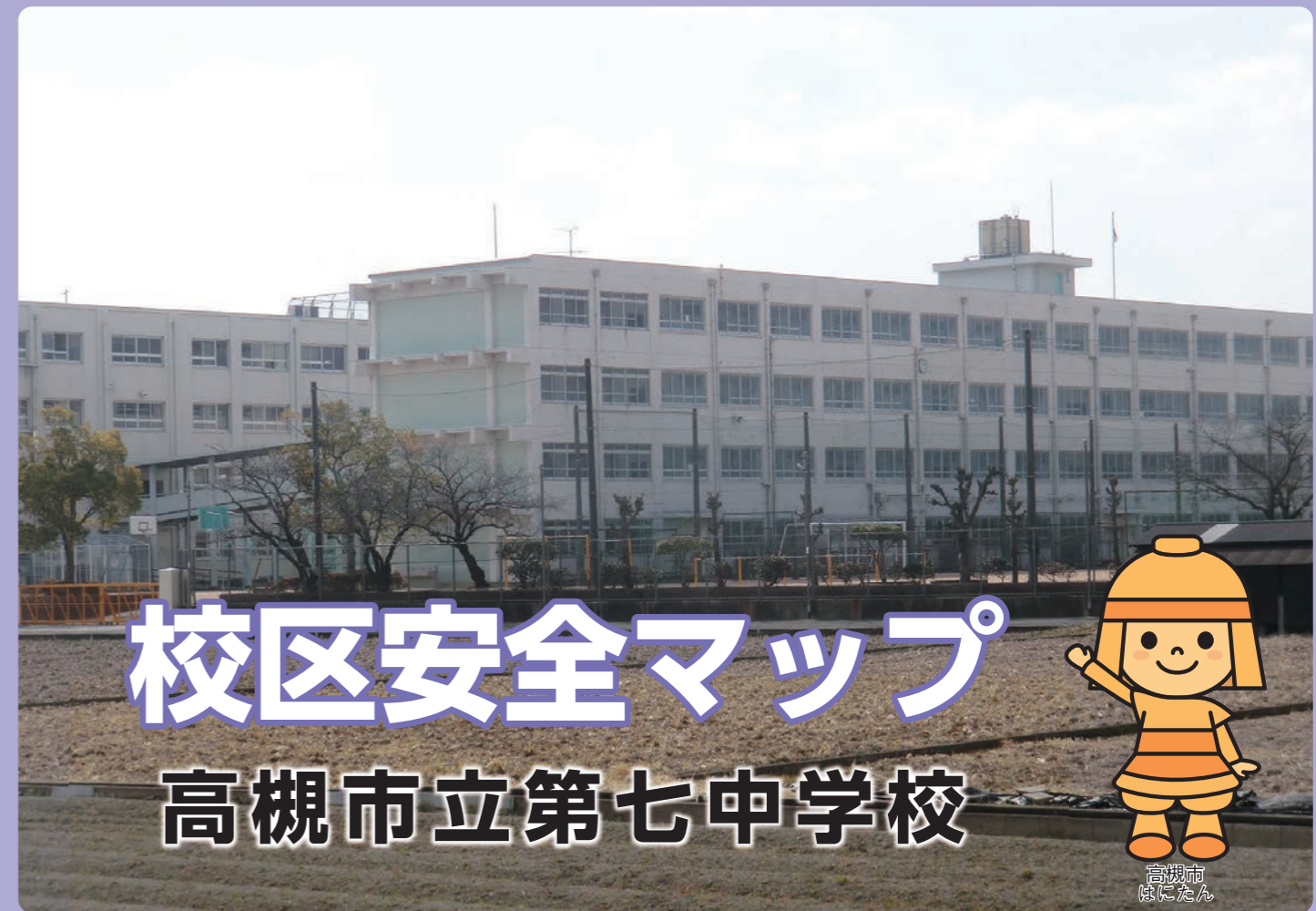
例えば...  
ワロップ塀や自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点  
信号機のない横断歩道  
歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路  
車と車の間



### 1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

どんな危険があるのかな?



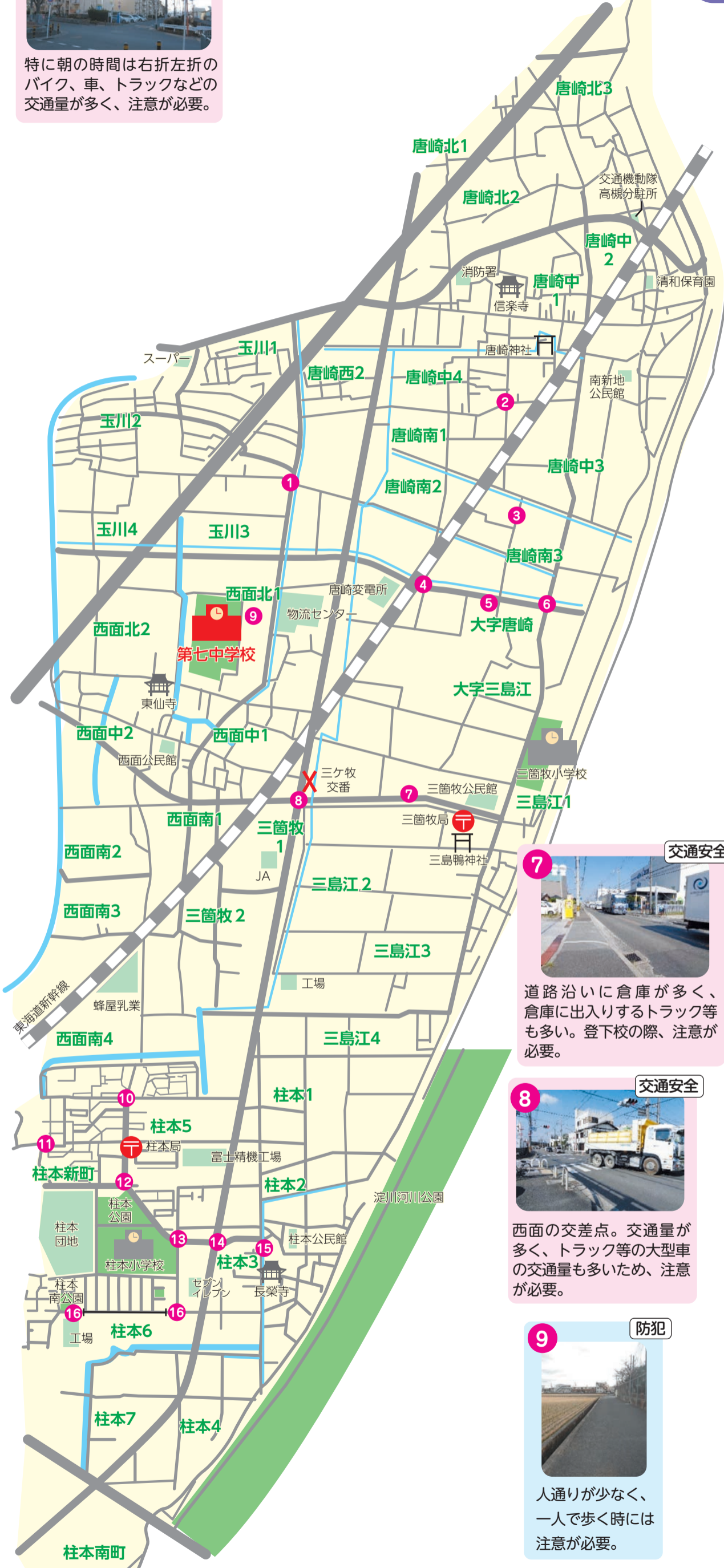
# 校区安全マップ

## 高槻市立第七中学校





## 2 自分の校区を確認しよう



**11** 交通安全

見通しが悪く、バイクや車の交通量が多い。

**10** 交通安全

特に朝の時間は右折左折のバイク、車、トラックなどの交通量が多く、注意が必要。

**12** 交通安全

近くに大きなトラックがとまる駐車場があり、交通量も多いので注意が必要。

**13** 交通安全

交通量が多く、視界もせまいため、注意が必要。

**14** 交通安全

歩道橋を渡ること。

**15** 防災

田んぼなどの農業用水路になっており、天候に関係なく水量が多い時があるため、絶対に入ってはいけない。

**16** 交通安全

交通量が多く、直線道路でスピードを出している車やバイクが多い。  
——| 区間

**1** 交通安全

車の交通量が多く注意が必要。用水路横のせまい道路。バイク・自転車も通行するため注意。

**2** 防犯

人通りが少なく、不審者が出没しやすい。

**3** 防犯

周辺の見通しも悪く、一人で歩く時には注意が必要。

**7** 交通安全

道路沿いに倉庫が多く、倉庫に出入りするトラック等も多い。登下校の際、注意が必要。

**4** 交通安全

新幹線下道路抜け道のため、交通量が多くスピードを出す車も多いので注意が必要。

**8** 交通安全

西面の交差点。交通量が多く、トラック等の大型車の交通量も多いため、注意が必要。

**5** 防犯  
防災

田んぼ地帯が多く、トラブル時、逃げ込んだり避難する場所がない。

**9** 防犯

人通りが少なく、一人で歩く時には注意が必要。

**6** 交通安全

やや登りで、車がスピードを上げて通行するので注意が必要。

X	交番
T	郵便局

地震発生時の避難場所 ( )